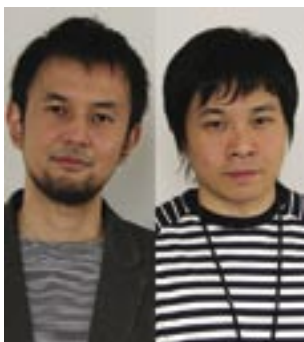


## After Effectsのバージョンアップは欠かせない 処理速度とプレビューの高速化は 現場ではもっとも大切な要素



横井勝氏 (左)、南治樹氏 (右)



銭形金太郎 OA グラフィック (シーン切り替えジャンクション)

### 会社

#### テレビ朝日

番組のデザイン要素を放送から番組宣伝に至るまで全ての工程に組み込んでいくようにしており、美術制作センター CG デザイン室では、そうした番組のロゴ制作からオープニング CG など映像デザイン全般を手掛けている

[www.tv-asahi.co.jp](http://www.tv-asahi.co.jp)

### 使用製品

- Adobe After Effects
- Adobe Photoshop
- Adobe Illustrator

現在、テレビ朝日は「デザイン」を心がけながら番組制作に取り組んでいる。代表的な例が、ニュースステーションの後続番組として、2004年4月5日からスタートした『報道ステーション』だ。報道ステーションの駅貼りポスターはこれまでのニュース番組とは一線を画す高いデザイン性が注目を集めた。テレビ朝日では番組のデザイン要素を放送から番組宣伝に至るまで全ての工程に組み込んでいくようにしており、美術制作センター CG デザイン室では、そうした番組のロゴ制作からオープニング CG など映像デザイン全般を手掛けている。

「例えば、毎週水曜8時放送の『銭形金太郎』では、まずはロゴや銭金ツナギのイラストなど細部に至るイメージデザインをCGデザイン室で作成しました。そのオリジナルイメージを宣伝部がプロモーションのデザイン展開に利用します。さらに、CGデザイン室では、番組に関係するすべてのグラフィックや映像、たとえば、ポスターやWeb、オンエア用のオープニング、テロップの制作も担当します。銭形金太郎で面白いのは、トランジションにも銭金ツナギのイラストを生かしているところですね」とアートディレクターの横井勝氏は語っている。「番宣からオンエアに至るまでの全ての行程において、番組イメージをデザイン化してトータルイメー

ジを打ち出していくという試みは、テレビ朝日の特徴だと考えています」

こうした一連のデザインワークに欠かせないのが、Adobe® Photoshop® や Adobe Illustrator®, そして Adobe After Effects® といったアドビ製品だ。CGデザイン室では、前述したように、番組展開の基本となるデザインから関わっているのが、ロゴをPhotoshopやIllustratorでデザインし、そのロゴデータをAfter Effectsに渡して映像化するという流れが多い。「CGデザイン室では、2D、3D、フィニッシングまで行います。2DはPhotoshopやIllustrator、3DはMayaやSoftimage XSIを主に使用していますが、いずれの場



銭形金太郎 オープニング CG



合も素材の組み合わせや色調整、エフェクトなどのフィニッシングに After Effects を使用しており、納品までの行程で After Effects を通過しないケースはほとんどないですね」と CG デザイナーである南治樹氏は語る。

CG デザイン室では、After Effects はバージョン 3.0 から現行の 6.5 まで、アップグレードをほとんど欠かしていない。その理由について南氏は「バージョンが上がる度に処理能力が向上していくので、新しいバージョンはより早くなっているという印象があります。表現の面では、5.0 のときの 3D レイヤーが嬉しかったですね。今でも、その 3D レイヤーは頻繁に使います」と述べた。

生放送の歌番組『ミュージック・ステーション』では、歌手が歌う背景のセットに巨大な LED が常置されており、VJ 的な演出に一役買っている。収録のときは、スタッフが現場でいわゆる VJ プレイをしているそうだ。この VJ 用の素材では、一見 3D のように見える映像も、Photoshop や Illustrator で作成した 2D 画像を After Effects で処理して、3D 的に見せるケースが多いという。その理由は、3D によるレンダリング時間を避けて、より短時間で制作するためだ。横井氏は「番組制作の期間は短く限られており、その制作過程での確認作業を何回も行います。After Effects は豊富な機能と共に、そのプレビュー機能が進化していることが我々にとって一番重要な要素です」と話している。



銭形金太郎 宣伝展開 (渋谷駅)  
ツナギフラッグ

#### お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD : Adobe Advanced Dealer) でお問い合わせください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビ システムズ ホームページ ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビシステムズ 株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・[www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)  
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884

受付時間 9:30 ~ 17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe After Effects、Photoshop および Illustrator は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2004 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

XXXXXXXX 0/02

